

令和7年12月定例会

福祉環境委員会

部長説明要旨

令和7年12月16日(火)

第2委員会室

共生社会推進部

共生社会推進部長の島本でございます。

委員の皆様方には、人権尊重の社会づくり、こどもまんなか社会の実現に向けた取組の推進にあたりまして、日頃から格別の御指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

それでは、共生社会推進部における最近の主な取組について御説明いたします。

まず、人権局関係では11月の「同和運動推進月間」及び11月11日から12月10日までの「人権を考える強調月間」において、和歌山地方法務局等と連携した街頭啓発や県と「人権尊重の社会づくり協定」を締結している企業・団体による啓発物資の配布などに取り組んだところです。

特に、11月15日には、田辺市において「ふれあい人権フェスタ2025」を開催し、人権をテーマにした詩の表彰式や、人権に関わる団体によるブースの出展、講演会などを実施しました。さらに、これらの取組をテレビ・ラジオなどで広報するなど、県内各地で様々な啓発活動を実施し、県民の人権意識の高揚を図りました。

また、人権週間中の12月7日には、「特設人権相談」を実施したところです。

続いて、こども家庭局関係ですが、今年度新たに、放課後児童クラブの質の向上を目的として、巡回アドバイザーが放課後児童クラブに通う子どもの声を聴き、放課後児童支援員が抱える課題に対して助言を行うなど、子どもの意見を反映した快適な居場所づくりに取り組んでいるところです。

令和7年度は合計24か所の放課後児童クラブを訪問するこ

ととしており、更なる放課後児童クラブの質の向上に取り組んでまいります。

次に、県内の児童虐待の現状につきましては、令和6年度に児童相談所で受け付けた、児童虐待相談件数は2,030件となっており、前年度より若干減少していますが、依然として2,000件を超える状況が続いています。

その中で、先般報道等もありましたが、和歌山市在住の2歳女児が、両親から必要な養育や治療を受けられず、死亡するという痛ましい事案も発生いたしました。

このような事案が二度と発生しないよう、現在関係機関と連携し、対応策を検討しております。

引き続き、児童相談所の体制強化や相談体制の充実を図りながら、子どもの最善の利益を実現するための取組を推進してまいります。

次に、ジェンダー平等の推進につきましては、11月にシンポジウムを開催し、多くの社会課題の根底に潜むジェンダー格差の解消を目的とし、女性活躍企業同盟から「わかやまジェンダー平等プロジェクト」へと改組を行いました。

また、近年、男性のDV被害者が全国的に増加傾向にあることから、男性のDV被害者を積極的に支援している「一般社団法人白鳥の森」の代表理事を講師に招き、男性DV被害者の実態と支援活動等に関するセミナーを9月に開催しました。

続きまして、今議会に提出しております共生社会推進部関係の議案について、御説明いたします。

議案書の1ページをご覧ください。

議案第146号「令和7年度和歌山県一般会計補正予算」につきましては、県人事委員会勧告に基づく給与改定等に伴い、第2款「総務費」、第3款「民生費」において、人件費の所要額をそれぞれ計上しています。

続きまして、条例等の案件について御説明いたします。

議案書の50ページをご覧ください。

議案第158号につきましては、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律等の一部改正に伴い、規定の整備を行うものです。

以上で、私からの説明は終わらせていただきます。

御審議の程、何卒よろしくお願ひいたします。